

TDB TEIKOKU NEWS daily

最新ニュースはここにアクセス

▼ ▼ ▼
<http://www.tdb-news.com/>

11/2
mon.

2015
NO.14127

③一覧点

積極的に欧州にすり寄る中国

経済評論家 真壁 昭夫

④一話題の倒産を追う 第402回

ケーイー（旧・近代映画社）

—老舗映画誌を倒産に追い込んだ出版不況の正体

⑥一倒産・動向記事

主な債権者判明	パッチワーク通信社	〔専門誌出版〕	(東京)
カネテツ工機	[鋼材加工]		(愛知)
E R S ホールディングス	〔省エネ・コスト削減事業〕		(東京)
ロイヤルプランニング	〔健康増進器具販売〕		(宮城)
スコットなど2社	〔スポーツ用品卸〕		(埼玉・群馬)
松本日栄	〔パチンコホール経営〕		(長野)
メイセイ	〔移動体通信システム工事〕		(大阪)
新見社	〔続報、自動車小売り〕		(東京)
その他の債権者判明企業／その他全国の倒産・動向			

⑩一記者日誌 〈3338〉

第一生命サラリーマン川柳コンクールより

⑪一企業ZOOM UP 第687回

イーソーコ

—物流に新しい“3K”を！

⑫一Tokyo Weekly

Data de Watch 墨田区

No. 687

企業

zoom up

イーソーコ

物流に新しい“3K”を！

物流不動産ビジネスを業界に広める大谷会長。セミナーやメディアへの出演にも積極的大だ。



“このままの物流業界でいいのか？”

今回取り上げるイーソーコ（株）の会長で、長年、倉庫業者という立場から業界を見てきた大谷氏への取材では、その会話の端々にこの問題意識が垣間見えた。「物流業界はやって当たり前前の減点主義で、倉庫をはじめとした資産を持っている分、どうしても受身の営業になってしまふ。IT化も遅れているし、3PLやMega倉庫などの効率化が進んでいる中で、取り残される中小の業者は多い」と同氏は分析している。

多くの企業が抱くこの悩みに対し、当社が導き出したひとつの答えが“物流不動産ビジネス”だ。「これまで物流業界と不動産業界は商慣習も考え方も大きく違う相容れないものでした。その両者を結び付けようとしたのです」と大谷会長。その考えのもと、当社の代名詞となったのが、現在全国の4万件を超える物件が収録された、貸倉庫・物流不動産検索サイト“イーソーコ.com”である。借り手側は、自力ではなかなか探し出すのが難しい、ニーズにぴったりの倉庫を探せる上、倉庫業者にとっても稼働率を上げるいい媒体となる。また、当社のビジネスはこれだけではない。当社が倉庫を一括で借り上げ、借り手探しや運営もトータルでサポートするマスターリース、オフィスやスタジオへ転用するリノベーション事業など、グループ各社の協力のもと、実に様々な事業を手がけている。「物流を軸に不動産、建築、あるいは金融の分野をプラスアルファする」大谷会長の考えがしっかりと反映されている。

しかし、上記のような様々な分野に手を伸ばすのは、既存の物流業者にとって容易ではない。物流、倉庫業に対するいわゆる“3K”（きつい、汚

い、危険）のイメージは根強く、人員の硬直化が進んでいるのが原因だ。

物流不動産ビジネスを牽引してきたイーソーコ（株）は、この点への配慮も怠っていない。会長自ら“新3K”（カッコいい、稼げる、感動する）を標榜。事実、当社のオフィスはIT企業顔負けのスタイリッシュさで、業種からは想像できない。新入社員には、18ヵ月間の充実した研修で、物流の現場業務（フォークリフトの免許を取ることも）から、宅建業務など不動産に関する知識の習得にも時間を割く。積極的にITも活用し、当社の営業現場でもすぐに対応できる人材、「物流ユーティリティープレイヤー」を続々と輩出している。

今後について、大谷会長は「東京五輪までには、現在の物流ユーティリティープレイヤーを100名ほどに増やし、全国に設立予定の地域会社で活躍してもらいたい」と話す。これまでの常識にとらわれない当社の物流不動産ビジネスと、若い人材が今後も業界に活気を与えてくれるだろう。

（取材・文／東京支社情報部 瓦田 真人）

会社概要

イーソーコ（株）

企業コード：981190861

東京都港区芝浦1-13-10、電話03-5439-9401

遠藤文社長

設立：1999年5月、資本金：4278万円

事業内容：物流不動産に関する総合サービス

年収入高：約14億800万円（2014年4月期）

従業員：11名

<https://www.e-sohko.com/>